

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	(仮称)介護支援ボランティアポイント制度準備事業				
所管部局	健康福祉部	部長名	村岡 晃	予算事業名	こうち笑顔マイレージ推進事業費
所管部署	高齢者支援課	所属長名	杉本 義浩	予算事業科目(平成26年度)	010301040693

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画 ・ 実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	02	安心の環	施策 取組 方針	介護を必要とする高齢者やその家族が地域で安心して暮らすことができるように、介護関係職員等の知識や技術の向上に努め、介護サービスの質の向上を図るとともに、在宅生活や在宅復帰への支援体制の整備、施設・居住系サービスの整備など、介護システムの充実に努めます。	
政策	10	いきいき安心の高齢社会づくり			
施策	27	介護システムの充実			

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	介護保険法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	高知市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民の65歳以上の要介護・要支援の認定を受けていない方で(登録された)介護保険施設等でのボランティア活動の参加者		
意図	どのような状態にしていくのか	高齢者の活躍の場の創出による生きがい・やりがいづくり、社会参加活動を通じた高齢者自身の介護予防の推進及び健康増進の促進を図る		
手段	事業実施体制等	介護保険施設等ボランティア委託事業費	事業開始年度	平成26年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	65歳以上の市民のボランティア活動に対してポイントを付与し、ポイントに応じて還元(ですかチャージ券、QUOカード等)を行う事業体制に向けて、説明会を実施。介護保険施設等受入機関の指定以外		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	ボランティア活動参加者数(人)	制度の周知により、ボランティアの受入機関が増え人数が増加しているか	
	B	健康づくり活動参加者数(人)	制度の周知により、健康づくり活動会場数とともに参加者数が増加しているか	
	C			

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	ボランティア活動参加者数(人)						
		実績						
	B	健康づくり活動参加者数(人)						
		実績						
	C	目標				ABあわせて5,000		
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)			1,972	3,154		
		財源内訳	国費(千円)			219	684	
			県費(千円)			109	342	
			市債(千円)			110		
			その他(千円)			437	1,368	
			一般財源(千円)	0	0	1,097	760	
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	0	0	0		
		正規職員(千円)	0	0	0	0		
		その他(千円)						
		人役数(人)						
		正規職員(人)						
		その他(人)						
	総コスト=①+②(千円)		0	0	1,972	3,154		
	市民1人当たりコスト(円)		0	0	6	6	総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数(人)		337,875	338,397	336,845				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

会場数は好調に増加。愛称をこうち笑顔マイルージに決定し、好意的意見多い。今後の高齢化社会におけるいきがづくりや健康寿命、自助・互助の意識啓発や活動につながることを期待。ボランティア会場からは助かっている、受入機関の幅を広げてほしいとの声もあり。体操会場は参加者が増加する一方、お世話の負担感、認定のある方もいるため、やりにくい声がある。

6 所属長評価

評価項目		評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	総合計画の施策「いきいき高齢者のまちづくりに結びつくもの。また、増加する高齢者人口のうち、元気高齢者等の生きがいに結びつくものとし、需要は増加すると考える	
		B (3) 一部結びつく				
		C (1) あまり結びつかない				
		D (0) 結びつかない				
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A			
		B (3) 横ばいである				
		C (1) 少ない、減少している				
		D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	参加者は徐々に増加している。書式や管理方法の簡素化を検討する	
		B (3) 概ね達成している				
		C (1) あまり順調ではない				
		D (0) 十分な成果を望めない				
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B			
		B (3) 概ね妥当である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	4.0	高知市社会福祉協議会に委託済。コスト削減等は今後の事業参加数で検証を行う。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
		C (1) 検討の余地はある				
		D (0) 十分可能である				
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B			
		B (3) 概ね効率的にできている				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	高知市内全域で元気高齢者等に社会参加活動を通じて、高齢者自身の介護予防の推進と健康増進を図るもので公平性は保たれていると考える。	
		B (3) 概ね保たれている				
		C (1) 偏っている				
		D (0) 公平性を欠いている				
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A			
		B (3) 概ね適正な負担割合である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 検討すべきである				
総合点 17.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)				
		B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)				
		C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)				
		D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)				

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	高齢者人口が増加していく中で、高齢者が主体的に健康づくりやボランティア活動等の社会参加を目指すものであり、生きがいにに関する事業として今後も継続が必要である。
B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--